

見晴台自治会 だより 2024(令和6)年 11月 通算357号

発行・編集 見晴台自治会事務局 〒067-0042 江別市見晴台 54-5 見晴台自治会館 TEL011-378-9884

=== 自治会館増改築工事完了 ===

自治会館増改築工事が、7月から約4ヶ月をかけ、10月をもって終了しました。

私たちの自治会館は、昭和61年(1986年)6月16日から同年10月5日までの工期を経て新築されました。当時の総工費は約4千万円で、土地区画整理組合と江別市がそれぞれ半額を負担して建てられました。

今回の増改築では、市の補助金支給制度が変わったため、自治会員がこれまでに積立ててきた4千万円を主な資金とし、市からの補助金800万円を加えた工費を資源に名実ともに私たちの手でリノベーションした会館と言えます。これからも、自治会活動の拠点として、また文化創造の発信場所として活用していきます。



<新しくなった自治会館正面玄関>

〔事務局〕



バス旅行～今年は円山動物園 白い恋人パーク



10月19日(土)の「見晴台野外活動バス旅行」には、役員を含め66名がバス2台に分乗し、円山動物園・白い恋人パークを巡ってきました。

あいにく時々雨の降る天候でしたが、参加者同士交流を深め、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

〔事業推進部〕

<自治会ホームページへのアクセス>



〔事務局〕

見晴台住民数 (令和6年10月1日現在)

男性	2,024人	(前月比 9人減)
女性	2,197人	(前月比 9人減)
合計	4,221人	(前月比 18人減)

〔11月の行事予定〕

1日(金)	自治会だより発行	16日(土)	8:30 資源回収
	19:00 運営委員会		14:00 支援事業交流会
2日(土)	8:30 資源回収	20日(水)	広報原稿締切り
~12月14日(土)	交通安全ポスター展示	27日(水)	15:00 自治会だより編集会議
8日(金)	19:00 役員会	30日(土)	9:00 自治会だよりほか配付





江別インター線発掘調査の思い出（２）

13区2班 園部 真幸

私が担当したのは元江別1遺跡（前号図参照）でした。昭和54年5月、調査区域の南西側で直径1mほどの円形の土の落ち込みが見つかり、付近から1個体分の潰れた土器が発見されました。

掘っていくと深さ1mほどの穴の底にベンガラ（酸化第二鉄＝赤色顔料として利用される）が敷かれており、石やじり30本と人骨と思われる破片を発見しました。こうした状況からこの穴は明らかにお墓で、土器や石やじりは副葬品と考えられました。

副葬品の土器は続縄文時代（※）前半（約2000年前）に道南地方を中心に広がっていた恵山文化の土器（恵山式土器）でした。江別市内では続縄文時代の土器として江別式土器が古くから知られていましたが、恵山式土器については、それまでまとまった発見例がありませんでした。

恵山文化のお墓は次々に発見され2か年で41基が調査されました。火山灰は酸性土壌のため、人骨はほとんど残っていませんでしたが、お墓の規模から遺体は「屈葬」されたと思われます。



元江別1遺跡のお墓（左）と副葬品の土器（右）

驚いたのは副葬品が実にバラエティに富んでいたことでした。土器をはじめ石やじり、石ナイフ、石斧、管玉（くだたま）、コハク玉などが様々な組み合わせで発見されました。コハク玉は一つのお墓に1千個以上が副葬されていました。

あらたにお墓らしい穴を見つけるたびに、今度はどんな副葬品が入っているのだろうとワクワクしながら掘ったものです。

土器には典型的な恵山式土器のほかに、道央部在来の土器や道東部の特徴を持つ土器もあり、江別を舞台に様々な土器文化が出会っていたことが判ってきました。それは江別式土器文化（約1800年～1500年前）の成り立ちを考える上で大きなヒントとなるものでした。

このように元江別1遺跡の発掘調査は北海道考古学上に大きな成果を残して終了しました。お墓の副葬品4千点余は平成7年6月、国の重要文化財に指定され、現在江別市郷土資料館で保管・展示されています。

（※本州の弥生時代～古墳時代に相当する時代）

（続く）



『元江別遺跡群』江別市教育委員会1981年より

見晴台シルバーふれあい会館36年間に感謝！



自治会館と共に親しんできた「ふれあい会館」を撤去しました。
この建物については、「平成9年 自治会創立10周年 記念誌」に……見晴台シルバークラブの活動拠点である「見晴台シルバーふれあい会館」は、牧場町在住（当時）の土蔵辰馬氏によって、すべてが計画実現したものであります。

＜解体直前のふれあい会館＞ 即ち、見晴台2番地であって、当時すでに解散していた元江別土地
区画整理組合が事務所として使用していた建物を無償で、しかも移転費用も同組合が負担、更に
共同募金江別支部から100万円の補助金を得て建物の補修整備、電気、水道設備等、直ちに使用
できる状態で見晴台自治会に引き継いでくれたものであります。

昭和63年8月5日から使用開始とし、名称の「見晴台シルバーふれあい会館」は見晴台シル
バークラブ会員のアンケートによって決定しました……。 (原文から一部抜粋)

今後の見晴台シルバークラブの活動拠点は、自治会館となります。

過去の先達の皆様に深い感謝の念を抱くと共に、今後のシルバーの活動に期待します。

〔事務局〕

◇◇◇ 交通安全ポスター展示会開催 ◇◇◇

対雁小学校のご協力のもと、交通安全ポスターの展示会を11月2日(土)から12月14日(土)まで、
自治会館大広間で開催します。是非ご覧ください。

事務局開設日の水曜日午後1時から4時まで、土曜日午前9時から12時までの間、会館は開放していますので、交通安全ポスターを見て、交通事故を減らすことができるなら幸いです。

皆様のご来場をお待ちしています。

〔生活環境部〕

— 交通安全 —



災害時避難行動要支援者及び緊急通報装置設置者

☞ 支援事業交流会開催 ☞

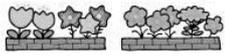
支援者・区長・班長・民生委員ほか支援事業に携わる方々に、緊急通報装置に関わる新システム導入の説明、また、日常疑問に感じている点、お困りになっている事などを話合う機会として支援事業交流会を、下記のとおり開催しますのでご参加をお願いします。

令和6年11月16日(土) 14時より15時まで 自治会館大広間にて

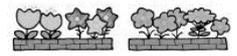
※資料など準備の関係上、参加される方は11月13日(水)までに連絡をお願いします。

(連絡先) 健康福祉部長 菊池 恵理子 TEL: 011-382-6853

〔健康福祉部〕



花壇片付と会館清掃お疲れさまでした



10月26日(土)9時から、今年度最後の花壇片付と会館清掃を、53名が参加し行いました。花壇は少し寂しくなりますが、来る冬に備えて片づけをしました。

また、会館清掃に関しては改修工事も終わり、例年より更に綺麗になりました。多くの方々のご協力に感謝申し上げます。

なお、花壇整備は毎月、会館清掃は春と秋の2回、皆様のご協力で実施しています。これからもご協力をよろしくお願い致します。

〔生活環境部〕



～【事務局から】～

るんるん公園リニューアル

見晴台地区に4カ所ある公園の中の「るんるん公園」(送電線緑地帯横)リニューアルのため、昨年7月から3回に渡りワークショップが開催されました。ワークショップでは、小学生から大人までが参加して、理想とする公園について意見を交換し、それを基にその成果を活かした公園改修工事が進められてきました。

その工事が終了し、10月4日(金)に完成記念式が開催されました。



当日は、あいにくの雨でしたが、ワークショップの参加者が集合、自分たちが銘々にデザインした記念レンガを敷き詰めました。

なお、公園の中央に設置され帰宅時間を知らせる時計は、見晴台自治会から寄贈したものです。

上：時計塔、左：自作のレンガを敷き詰めて

11月事務局員駐在日

11月の事務局開設日は、2日、6日、9日、13日、16日、20日、27日、30日の8日間です。23日(祝日)は休みです。

水曜日は午後1時～4時まで、土曜日は午前9時～12時まで、事務局員が事務室に駐在しています。会費納入のほか、自治会活動に関する意見・相談なども受けておりますので、気軽にお立ち寄りください。



毎月第1、第3土曜日 資源回収にご協力を!

見晴台自治会集団資源回収収益金報告
10月(5日、19日)分
31,387円になりました。
ご協力有難うございました。